

令和7年度

知財

ビジネスアイデア

学生

コンテスト



目次

- 01 知財ビジコンとは
- 02 スケジュール
- 03 過去作品

CONTENTS



01

知財ビジコンとは

ABOUT



■ 概要・目的

- 万博のテーマであるいのち輝く未来社会のデザインをテーマとして、学生の発想力や企画力をもとに、知的財産を使った新たなアイデアを提案していただくもの。
- コンテストを通じて、学生にビジネスの面白さや知的財産の大切さを感じていただくとともに、生み出されたアイデアを起点として事業創造活動の活性化に貢献することを目指す。

■ 対象

- 大学、大学院、高等専門学校及び専修学校生に在籍する学生によるチーム
※文理不問
- 1チームの上限は10名まで
※連絡窓口となる教職員を加えてください
- 令和6年度から対象地域を全国へ

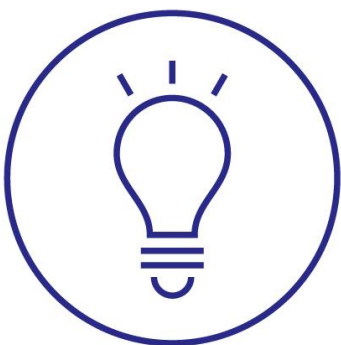
■ 場所

- 万博会場（特許庁催事会場 WASSE）で開催



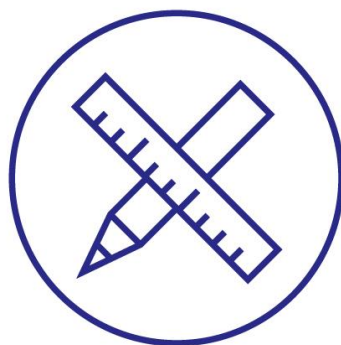
■ コンテスト部門

- ・ 「パテント部門」、「デザイン部門」、「地域ブランド部門」 の3部門で募集
- ・ 最優秀賞（各部門ごとに1点）、審査委員特別賞（複数点）



パテント部門

特許技術等を活用した
いのち輝く未来社会を実現するための
ビジネスプラン



デザイン部門

いのち輝く未来社会の
ためのプロダクトデザイン

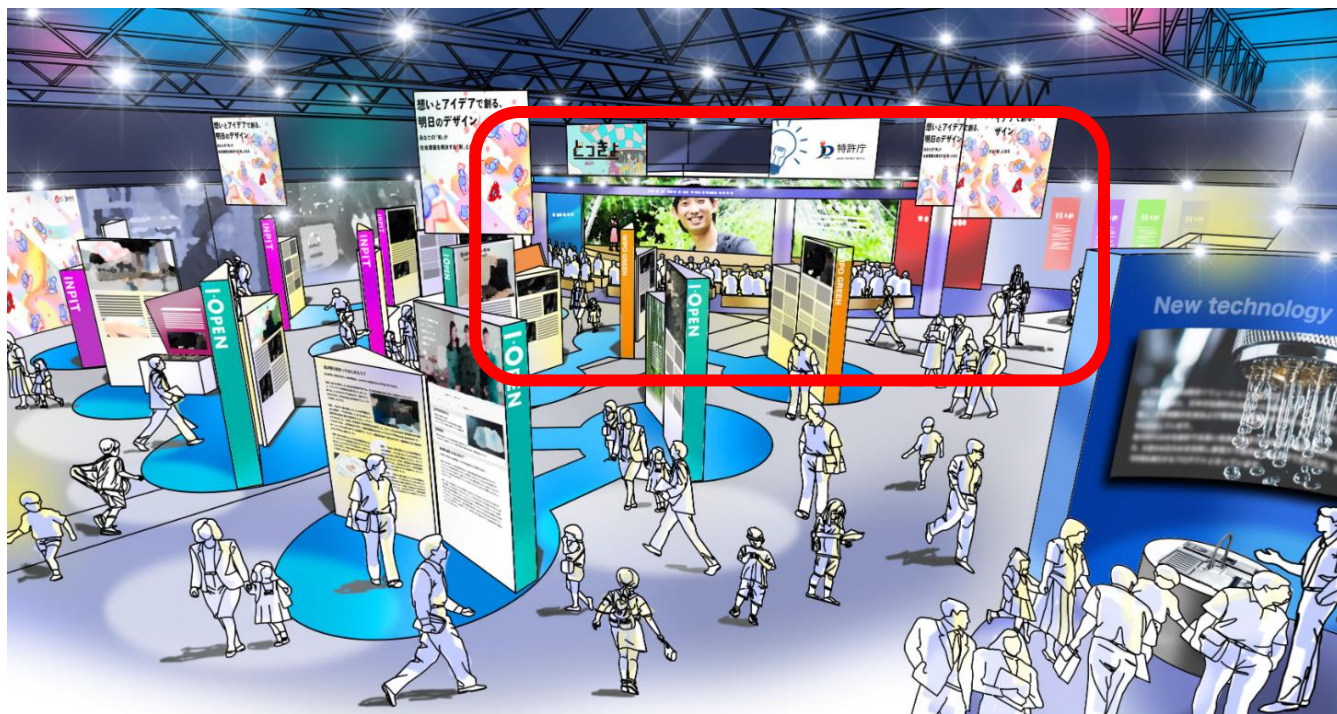


ブランド部門

いのち輝く未来社会を実現するための
地域ブランドの今後の展開のための
ビジネスプランやPR方策

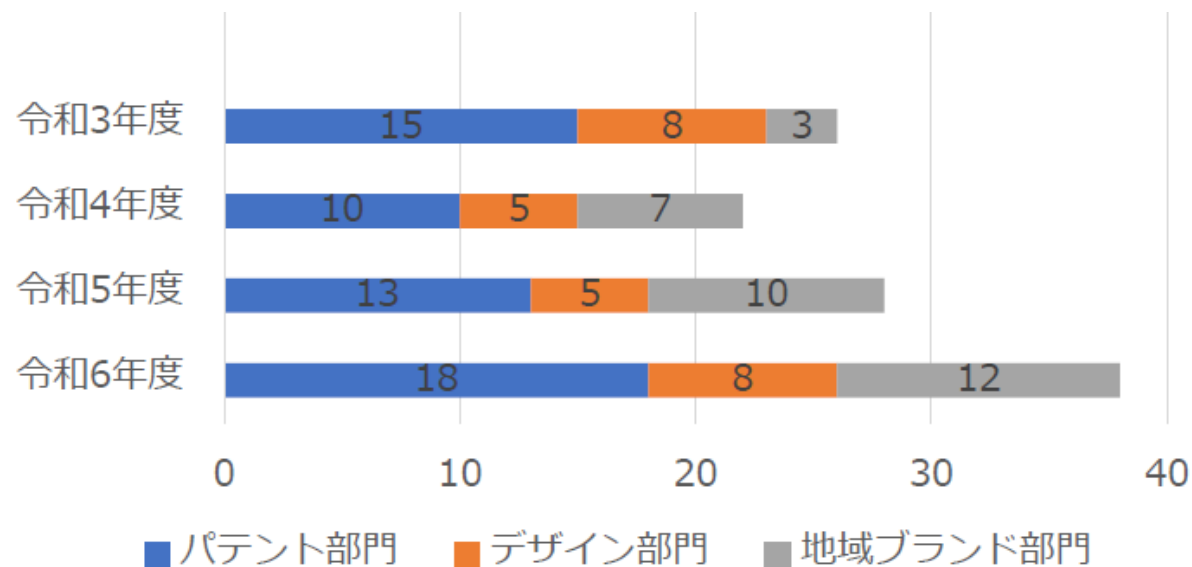
■ 万博催事会場のイメージ

※あくまでも現時点でのイメージとなり、開催時とは異なる可能性があります。



特許庁「2025年大阪・関西万博特設サイト」から抜粋

■ 過年度エントリー実績



■ 過去参加大学

(関西圏)

大阪工業大学、大阪工業大学院、京都橘大学、武庫川女子大学、同志社大学、大阪大学、京都市立芸術大学、関西大学、甲南大学、摂南大学、和歌山大学、関西学院大学、龍谷大学、阪南大学、大阪電気通信大学、大阪芸術大学、帝塚山大学、神戸学院大学、大阪音楽大学、大阪商業大学、京都大学、京都工芸繊維大学、滋賀県立大学、関西国際大学、京都産業大学、大阪経済大学、京都女子大学、大阪公立大学工業高等専門学校 ※順不同

(関西圏外※令和6年度よりエントリー可能に)

中京大学、名古屋学芸大学、香川大学 ※順不同



02

スケジュール

SCHEDULE



スケジュール

本選は、**10/4（土）**に開催。

スケジュールイメージ

※本コンテストスキーム内で大阪にお越しいただくのは本選のみです。

	2024 10月	11月	12月	2025 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
周知活動													
チームエントリー						3/4～6/6 17:00							
セミナー動画						3/4～6/17 17:00							
ドラフト受付								5/12～6/17					
1次審査										8月下旬			
本選												10/4	



03

過去作品

PAST WORKS



イベント業界における不正入場防止システム OMG (パテント部門)

耳介認証とチケットリセールシステムの構築で不正転売を防止

イベント業界で不正転売が横行

(背景・課題・想い)

令和元年にチケット不正転売禁止法が施行されたにも関わらず不正転売が横行。

チケット不正転売が行われる背景としては、
①ライブ会場に適した本人確認システムが存在しない、②チケットのリセールシステムが整備されていないといった問題点があった。

【利用した特許技術】

- ・カード特殊詐欺防止システム（特許第7331060号, 山田浩稔氏）
- ・カンタン提出（特許第7255713号, 株式会社リコー）

IDEA

本人確認システムとチケットリセールシステムの構築

【本人確認システム】

- ・少ない人手でスムーズかつライブ会場に適した（メイクに影響されない）本人確認システムとして耳介認証を導入。
- ・本人確認時に情報が一致しなかった場合、今後のファンクラブへの入会・チケットの購入を不可に（←「カード特殊詐欺防止システム」の特許技術を利用）。

【チケットリセールシステム】

- ・「カンタン提出」の特許技術を利用することによりチケットのリセールに必要なQRコードの編集を直前まで行うことが可能に。

評価ポイント

・アイデアの複合的な利用

不正入場防止に係る問題を、ライブ会場に適した本人確認システムの確立、不正者対応、リセールシステムの整備といった複数のアイデアを用いて解決。



担架になるトートバック Team LABO b (デザイン部門)

日常時も非常時もフェーズを超えて活用できる
トートバック（フェーズフリー）

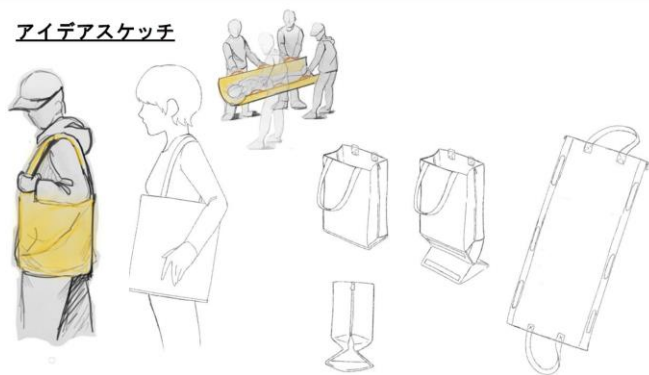
日頃から災害時の救護に備える

（背景・課題・想い）

災害が多い日本では、災害発生時などの緊急時に**迅速な対応**ができるアイテムが求められている。

地域の安全や応急処置といった個人の安全意識の醸成に繋がりたい。

アイデアスケッチ



IDEA

日常ではトートバックと使用し、非常時には担架として機能

- 日常利用では、トートバックとして使用ができ、非常時には素早く担架として使用することが可能。
- 担架の耐久性は、成人男性1人を安定して運ぶことが可能。

評価ポイント

・ プロトタイプの提示

試作品をコンテスト本番で提示し、実際の耐久性をアピール。

・ ペルソナ設定の明確性

様々なペルソナを想定し、マーケティング戦略を構築。

・ 市場分析

市場に出ている既製品を分析し、自分たちの製品の優位性を主張。



コロナ禍による地方自治体や施設へのダメージをなんとかしたい

(背景・課題・想い)

身近なグッズを手に入れることでその地域や場所の愛着を深められるのではないかな



IDEA

地元の特産品のキーホルダー

地域の特産品（伝統野菜など）をデザインしたキーホルダーを作成し、地元の道の駅に設置されたガチャポンに入れ、「aipon」のロゴで販売を行う。

地域の方の興味、記念品としての客の購入意欲を導くなどし、地元愛の創出を図るアイデア。今後は、全国の道の駅にアイポンを設置していくことを目指す

評価ポイント

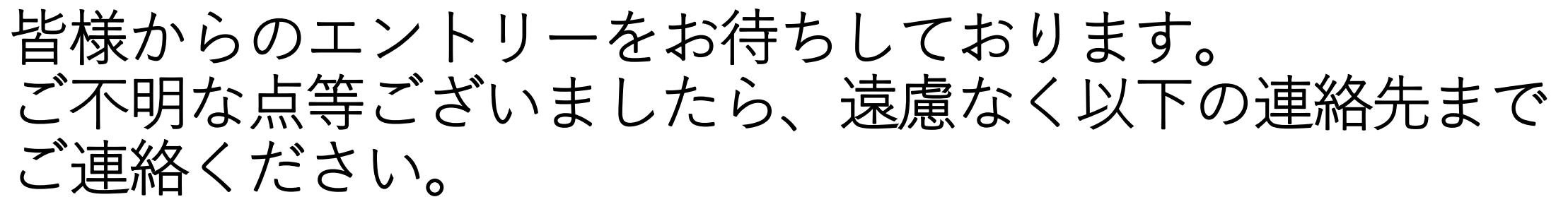
・実現可能性

テストマーケティングを実施

・地域資源の活用

小さなカプセルトイにキーホルダー、食券やお買い物券を同梱し、学食や道の駅で試験導入





近畿経済産業局 地域経済部 産業技術課 知的財産室
e-mail : bz1-kin-contest@meti.go.jp